

JMCC 通信 VOL.48

発行日/2024年 9月吉日 発行/日本医療介護協同組合 〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号 <https://jmcc.or.jp/>


介護福祉士「パート合格」導入へ

介護人材不足が深刻となる中、介護に携わる外国人に在留資格の制限なく日本で就労してもらうためには介護福祉士の取得が必要となります。一般に外国人の介護福祉士国家試験の合格率は、日本人を含めた全体の合格率と比較すると低い傾向にありました。

技能実習生、特定技能といった外国人介護人材にとって限られた受験機会の中で就労と専門的な学習に加え、日本語学習も同時に必要となるため国家試験受験に向けた学習の意欲を維持し学習を進めて行くことはとても難しいことです。

厚生労働省が検討している介護福祉士国家試験の「パート合格」は、筆記試験の13科目を3つのパートに分割し、各パートごとに合否を判定するものです。

一部のパートに合格した場合、その結果は次回以降の試験でも2年間有効とされます。

初回に全パートを受験し、不合格だったパートのみ次回以降に再受験が可能になるため、今までよりも外国人材の合格率が上がることが期待されるので嬉しいことです。

我々JMCCは、一人でも多くの技能実習生、特定技能の外国人の方々が介護福祉士を取得できるようこれからもサポートしてまいります。

具体的なパート内の項目

Aパート	介護の理念や考え方、制度に関する知識と具体的な技術を問う科目
Bパート	身体の構造や機能、介護の対象者が抱える疾病や障害の理解を問う科目
Cパート	知識や技術を具体的な支援場面や特定の事例に適用させる科目

令和7年度から導入予定とされているパート合格制度は、第38回介護福祉士国家試験から適用予定となっています。



試験科目		出題数
A	人間の尊厳と自立	2
	介護の基本	10
	社会の理解	12
	人間関係とコミュニケーション	4
	コミュニケーション技術	6
	生活支援技術	26
	小計	60
B	こころとからだのしくみ	12
	発達と老化の理解	8
	認知症の理解	10
	障害の理解	10
	医療的ケア	5
小計	45	
C	介護過程	8
	総合問題	12
小計	20	
合計	125	

施設の方にインタビュー vol. 2

実際に技能実習生や特定技能の方を受け入れた施設の方は、外国人を受け入れてどのように思っているか、シリーズでお届けいたします。今回は2回目となりますが、日光市の受け入れ施設の技術指導員の方に伺ってみました。

Q1.技能実習生について受け入れる前、どのように思っていましたか？

A. 日本語がどのくらい通じるのか、利用者様に受け入れられるのか不安でした。

Q2. 技能実習生について受け入れる後は、どのように思われていますか？

A. 思っていた以上に日本語を理解し真面目に取り組んでいます。

Q3. 技能実習生を受け入れてよかったと思うことはどんなことですか？

A. 勤務態度が優秀。急な休みがなく助かっています。

Q4. 技能実習生を受け入れて悪かったと思うことはどんなことですか？

A. 日本人より真面目に業務に取り組み、指導に対して素直に受け止めてくれています。

Q5. 受入れ後の施設の変化はありましたか？

A. 実習生の見本となるように丁寧な対応、業務を行うようになりました。

Q6.入居者様の反応はどうか？

A. 数ヶ月経ってからは、実習生への信頼もみられているように思います。

Q7.入居者様のご家族の反応はどうか？

A. 特に外国人への偏見もなく、日本人と同じように対応してくれるご家族様が多いです。

Q8.技能実習生に希望することはありますか？

A. 服薬介助が出来ると、今後の夜勤勤務等もスムーズにいくと思います。

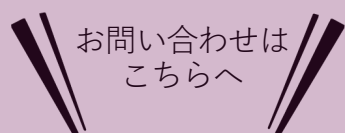
B. Q9.技能実習生と特定技能の方の技能の差はありますか？

A. 特定技能の方の受け入れはないのでわかりません。



日光市介護老人保健施設

※施設技術指導員様、ご協力ありがとうございました。



お問い合わせは
こちらへ

東京都病院協会賛助会員



Japan Medical & Care Cooperative

日本医療介護協同組合

〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目7番20号
平河町辻田ビル7F

TEL 03-3221-7010

<https://jmcc.or.jp/>

